

テーマ	<p>RAのレベルアップのための"安全トレーナー・トレーニングセンター"と労務管理の両立 = "安全人材育成のしくみ改善"</p> <p>1. 取り上げた背景</p> <p>H21年度</p> <p>トップ自らがアイデアを出し、「プロセス・場所・職層」を3軸の柱とした 安全の確からしさ箱 = “安全ボックス”の中の安全濃度をあげ 大切な従業員を守る、という考え方で、社員が安心して働く職場環境づくりのビジョン化としくみ化を進めた。</p> <p>その3軸を柱とした”安全ボックスビジョン”的レベルアップ(箱の中の酸素濃度を上げるかのように”安全濃度”を上げる)活動を 会社として継続的</p> <p>安全の確からしさの3軸で守られる</p> <p>③ 職 ①プロセス(工程) ②場所</p> <p>Step 1= 安全ボックスで守ってあげるイメージ</p> <p>H22年度</p> <p>安全ボックス・ビジョンの「安全濃度向上活動」に取り組む中で、従業員を“守ってあげる視点”で、危険源を探し低減・排除する活動をやりつづけるがあり、ややもすると 人の行動に対して過保護で温室のような安全ボックスになってしまふ危険があることに気付いた。つまりリスクアセスメントを進め機械、施設など危険源を網羅・排除しようとする中で、物のせいでしがちは過保護になり “人の行動自身”があたかも “危険源”とならないように、安全人間を</p> <p>トランニ KITO</p> <p>Step 2= 毎日トレーニングで自立の</p> <p>常に安全ルールを守る人、自立して行動・考える人などは鍛え育てるには一時的な道場教育ではなく 毎日いつでもトレーニング = 社内常識化し 平日の社内トレーニングで 週末の客先工事の安全度合いを上げる考え方方が重要と再考。 每日 “会社丸ごと安全のトレーニングセンター” にした。</p> <p>H23年度</p> <p>工場丸ごと例外なく安全意識定着させるためあらゆる鬼頭への入場者(宅急便業者からお客様まで) 毎日の工場ごと安全トレーニングの対象となり 人づくり、職場環境づくり、風土づくりに大きく貢献したが、仕入先ふくめ 人に教える人の数、教え方などに 具体的な改善事項が見えてきた。そこで ひとつ上の自律をめざした ”安全を教える”という観点で(生徒ではなく) ”全社員が安全の先生になる” ”会社丸ごと安全トレーナーのトレーニングセンター”</p> <p>トレーナー KITO KITO</p> <p>Step 3= 全社員が先生となり自律をめざすイメージ</p> <p>H24年度</p> <p>安全トレーナートレーニングセンターの活動により 教えるということの重要性の再認識、そして 人づくり、職場環境づくり、風土づくりの基盤に大きく成果が出た。一方、当然 その活動に多くの時間がかかった。安全だけでなく品質等 安全以外の分野における人づくりとも連動させる労務管理 にのっとった安全教育を継続していくため、安全の人材育成を基盤とした会社全体の管理のしくみのベースづくりの改善を再スタートした。</p> <p>H25年度</p> <p>安全トレーナートレーニングセンターの活動から多くを学んだ。 人づくりの人材育成と労務管理にのっとった安全を継続していくため安全の人材育成を基盤とした、会社全体の管理のしくみのベースづくり改善が昨年スタートした。 そこでこれまでの活動に加えあらたな取組みとして、安全人材育成を基盤とした会社全体の管理のしくみを定着・進化させ、労務管理と両立する環境づくりを行い、あらたな風土づくりへ発展させることとした。</p> <p>【活動内容】「トップのリスクアセスメント活動」の盛込み 【キーワード】 ①人づくり ②職場環境づくり ③風土づくり (キーワードに○印:複数可)</p> <p>2. 目標とスケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>担当</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>各しくみづくりと労務管理を両立させる安全のしくみ</td> <td>鬼頭社長 (2回/月)</td> <td>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>会社の壁を越え、お客様と連携した 営業負荷管理と安全のしくみづくり</td> <td>藪押D (1回/週)</td> <td>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>設計工程での品質管理と連動した 人材育成のしくみと安全の急所おりこみ</td> <td>長谷川IMO (1回/週)</td> <td>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>現地工事での(手まち)等と連動し、会社の壁を越え、パートナー殿と連携した安全教育のしくみ</td> <td>国兼MO (2回/月)</td> <td>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>現地工事での(手まち)等と連動し、会社の壁を越え、パートナー殿と連携した安全教育のしくみ</td> <td>小原B (1回/週)</td> <td>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>国際壁を越え 海外拠点と連携した 安全人材育成の横展開</td> <td>伊藤B (連休工事)</td> <td>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. トップの職場巡回の計画と実施状況</p> <p>年4月から2014年3月でトップ層(社長、取締役、執行役員、部長 計7名)により、36回の職場巡回を計画。毎週ある土日工事の前日にも、“安全トレーナーのトレーニング”として自ら現地に向きその作業環境を事前(金曜日)に現地調査。また、人づくり、環境づくり、風土づくりの一環として 繼続して 管理職以外も全社員がトレーナーをめざすべく、トレーナーの底上げと負荷の分散をねらい</p> <p>4. 実施事例</p> <p>1. 各しくみづくりと労務管理を両立させる安全のしくみ</p> <p>設備メーカーの労務管理の難しさを克服するため、安全と安全以外のすべての業務を労務管理的に両立させ定着させるためのしくみづくりを目的とした活動に取り組んだ。そして管理を進める中で伝承が困難とされる特殊技能等を持った人材に業務が集中する事実があるので、業務集中を分散させ、かつ、そのノウハウ伝承を進めるため、能力マップ(ノウハウをレベル化、可視化)を作成、何を、何時、誰にノウハウ継承するか、計画を立て課題点の洗い出しありも行った。この活動により特殊技能者と従業員とKITOパートナーのコミュニケーションが活発になり労務管理を軸とした技能の伝承ができた。また、会社全体の管理のしくみが効率的、効果的に進んでいるか毎週チェックを行っている。その結果、指標は正常な範囲で推移し目標を達成していることを確認した。日々の労務管理には現地工事で使用する電話帳を構内作業用に工夫し、個々の従業員自らが作業計画の段階で日々KYを考えることが習慣化した。</p> <p>能力マップ 社内電話帳</p> <p>3. 設計工程での品質管理と連動した人材育成のしくみと安全の急所おりこみ(定着・進化)</p> <p>昨年度:設備設計工程で発生する品質不具合は後工程に大きく影響し工事やり直しを含めて安全上でも問題がある。そこでカンタン検図マニュアルを作成、過去の災害事例やヒヤリからくる安全の急所をおりこみ安全の急所と設備設計を連動させて学べるしくみとした。</p> <p>本年度:設計品質と安全の急所をおりこむ能力の高い設計者の固有の技術“カン・コツ”を管理技術に落とし込むしくみを考え、カンタン検図マニュアルを定期的に進化させるしくみと 設計全体の品質管理、安全の急所のレベルアップを定着させることができた。これにより教育手法の短期化効率化</p> <p>カンタン検図マニュアル カン・コツ管理技術 カンタンマニュアル 電気、検図、しくみ</p> <p>4. 現地工事での(手まち)等と連動し、会社の壁を越え、パートナー殿と連携した安全教育のしくみ(定着・進化)</p> <p>昨年度:現地工事でのお客様・自社・他者による手まち時間を安全教育を行えるように個人カルテを利用したウィークポイントの安全教育を行い管理できるようにパートナーにも展開した。</p> <p>本年度:個人カルテと教育ツールの充実と新たな設備への安全ポイントを整備しカリキュラムを充実させた。社員もパートナーも安全をいつでもどこでも学べる環境づくり、風土づくりの充実をはかり人づくりの安全教育を行っている。</p> <p>カリキュラム(抜粋) 配布先パートナーリスト</p> <p>5. 国の壁を越え 海外拠点と連携した 安全人材育成の横展開(進化)</p> <p>2. 3. 4のしくみやツールを海外数ヶ国語に翻訳、海外拠点でも人材育成できるようにした横展開を進めている。</p> <p>また、スーパーバイザの負担軽減、現地の労務管理的な課題を軽減に活用している。</p> <p>カリキュラム カンタンマニュアル 海外版</p> <p>6. 成果</p> <p>重点目標については、その項目を100%実行。各しくみづくりと労務・負荷・品質管理を両立することで安全人材育成の定着化が実現でき、しくみの更なる進化により、人づくり、環境づくり、風土づくりに繋げる事ができた。結果、安全の人材育成を基盤とした、会社全体の管理のしくみづくりの改善が達成できた。</p> <p>7. 反省と今後の進め方</p> <p>安全人材育成に終わりではなく、今後も手を変え品を変えて ”安全トレーナー・安全トレーニングセンター” 活動をあらゆるしくみと連動させながら、進化させていく。</p>		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1	各しくみづくりと労務管理を両立させる安全のしくみ	鬼頭社長 (2回/月)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●											2	会社の壁を越え、お客様と連携した 営業負荷管理と安全のしくみづくり	藪押D (1回/週)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●											3	設計工程での品質管理と連動した 人材育成のしくみと安全の急所おりこみ	長谷川IMO (1回/週)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●											4	現地工事での(手まち)等と連動し、会社の壁を越え、パートナー殿と連携した安全教育のしくみ	国兼MO (2回/月)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●											5	現地工事での(手まち)等と連動し、会社の壁を越え、パートナー殿と連携した安全教育のしくみ	小原B (1回/週)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●												国際壁を越え 海外拠点と連携した 安全人材育成の横展開	伊藤B (連休工事)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●										
	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																						
1	各しくみづくりと労務管理を両立させる安全のしくみ	鬼頭社長 (2回/月)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●																																																																																																
2	会社の壁を越え、お客様と連携した 営業負荷管理と安全のしくみづくり	藪押D (1回/週)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●																																																																																																
3	設計工程での品質管理と連動した 人材育成のしくみと安全の急所おりこみ	長谷川IMO (1回/週)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●																																																																																																
4	現地工事での(手まち)等と連動し、会社の壁を越え、パートナー殿と連携した安全教育のしくみ	国兼MO (2回/月)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●																																																																																																
5	現地工事での(手まち)等と連動し、会社の壁を越え、パートナー殿と連携した安全教育のしくみ	小原B (1回/週)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●																																																																																																
	国際壁を越え 海外拠点と連携した 安全人材育成の横展開	伊藤B (連休工事)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●																																																																																																